

事務事業名 ロードレース大会補助事業

政策:05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策:03 スポーツの振興
基本事業:01 スポーツ活動の充実

部名:教育部
課名:スポーツ振興課

計画年度	平成18年度	～	年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
ロードレース大会実行委員会 市民				・ロードレース大会(11月22日開催)に要する経費を補助(山武市ロードレース大会補助金交付要綱による)。 ・ゲストランナーは弘山晴美さん。 ・市内外から参加者を募集(7月1日～10月20日)、1691人の参加があった(過去最多)。 ・参加者に各種サービスを提供、今大会はつみれ汁の無料配布を実施。 ・会議実績(運営及び競技内容を協議)：準備委員会(4月～11月、計5回)、実行委員会(7月・11月、計2回)、責任者会議(11月、1回)。							
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）											
ロードレース大会を円滑に運営する。											
4 活動指標・成果指標・事業費の推移											
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値			
活動指標①	補助金交付額			千円	1,944	1,944	1,900	1,900			
活動指標②	打ち合わせ回数			回	8	8	8	8			
成果指標①	参加者数（市内）			人	137	164	300	330			
成果指標②	参加者数（全体）			人	1,091	1,519	1,300	1,450			
事業費				千円	1,944	1,944	1,900				
うち一般財源				千円	1,944	1,944	1,700				
5 目的妥当性											
☐ 法定受託事業である（根拠法令→） ☒ 妥当である ☐ 妥当性が低い				生涯スポーツの振興、市民の健康づくり及び競技力の向上を促進する上で効果の高い大会であることから、市として支援するのは妥当である。							
6 上位の基本事業への貢献度											
☒ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→） ☐ 基礎的事務事業				競技スポーツの推進や健康づくりを推進する意味でも貢献度は大きい。							
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討											
☐ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ☒ 対象や意図の見直しはできない ☐ その他				生涯スポーツ等の振興を目的とする事業であり、対象・意図の見直しはできない。							
8 有効性（成果状況）											
☒ あがっている ☐ どちらかといえばあがっている ☐ あがっていない				参加者の総数は増えており、市内からの参加者数も増えているが、全体の1割程度に止まっているため、小中学生を中心に市内からの参加を広く募ることで、成果が向上する余地はある。							
9 有効性（成果向上余地）											
☐ 成果向上余地・大 ☒ 成果向上余地・中 ☐ 成果向上余地・小・無し											
10 事業の再編成											
☐ 類似の事業があり、再編成できる ☐ 類似の事業はあるが、再編成できない ☒ 類似の事業はない				ない。							
11 効率性（コスト削減の方法）											
☐ ある ☒ ない				ない。							